

# 日別在庫照会

日別在庫照会

出力条件 (都度)  
 期間 2017/07/21 から 1週間 1ヵ月 3ヵ月 半年 1年 指定 2017/08/21  
 商品 品名 を含む  
 大分類 中分類 小分類  
 商品区分 区分1 区分2 区分3 区分4 区分5  
 セット品 全て セット品・構成品のみ  
 出力条件 (固定)  
 倉庫 予定在庫  発注残を含める  本日以降の返却予定日を考慮する  
 検索 (F1)

上段:貸出数、下段:予定在庫数

商品コード	品名	管理番号	構成数	開始数	2017年07月							
					21	22	23	24	25	26	27	
0612532	幕立て台部材	L型継手(小)		2	0	0	0	0	0	0	0	0
0612533	幕立て台部材	エンド継手(小)		2	2	2	2	2	2	2	2	2
0620001	自動ナンバリング機	リボンカセット別売		2	0	0	0	0	0	0	0	0
0641001	鋳・鉄・鎌			2	2	2	2	2	2	2	2	2
0641501	手水桶セット	手桶、受桶、柄杓		2	0	0	0	0	0	0	0	0
0641599	手水桶セット	手桶、柄杓、受桶、捨桶、		0	0	0	0	0	0	0	0	0
0641600	手水桶/杓/水受け/半紙/半紙台/くず入れ			2	0	0	0	0	0	0	0	0
0641601	紙台、捨紙入れ、半紙			2	2	2	2	2	2	2	2	2
0642001	三方	三方		2	0	0	0	0	0	0	0	0
				2	2	2	2	2	2	2	2	2

Excel (F10) 終了 (F12)

各商品ごとに上段:貸出数、下段:営業在庫数 で表示します。

セット品の完成品と構成品は背景色を変更して表示します。

登録した開始残高日が出力期間の開始日以降となる商品は背景グレーで表示し、各数値を0で表示します。

## 処理概要

- 商品別の日別の予定在庫数と貸出予定数が参照できる画面です。
- 過去、未来関係なく指定した日付範囲に含まれるデータを集計します。

## ◇取得データ内容

### 【貸出データの取得条件】

各状況ごとに「○」の範囲を取得します。

レンタル期間(納品日~返却日)	照会内容 状況	取得	売上		修理			取得範囲
		受注残 受残	貸中	返済	修予	修中	修済	
←→	期間From 期間To	○	○	×	×	○	×	返却日≠" AND 納品日<期間From AND 返却日<期間From
←→	←→	○	○	○	○	○	○	返却日≠" AND 納品日≤期間From AND 期間From≤返却日 AND 返却日≤期間To
←→	←→	○	○	○	○	○	○	返却日≠" AND 納品日≤期間From AND 期間To<返却日
←→	←→	○	○	×	○	○	×	返却日=" AND 期間From≤納品日 AND 納品日≤期間To
←→	←→	○	○	○	○	○	○	返却日≠" AND 期間From≤納品日 AND 納品日≤期間To AND 期間From≤返却日 AND 返却日≤期間To
←→	←→	○	○	○	○	○	○	返却日≠" AND 期間From≤納品日 AND 納品日≤期間To AND 期間To≤返却日
←→	←→	○	○	×	○	○	×	返却日=" AND 納品日≤期間To
←→	←→	×	×	×	×	×	×	返却日≠" AND 期間To<納品日 AND 期間To<返却日
←→	←→	×	×	×	×	×	×	返却日=" AND 期間To<納品日

◇取得データ内容

- 商品別の貸出数は以下3データの合計数で日別に集計します。
- レンタル受注残データ ⇒ 受注残数>0、かつ明細の商品種別=レンタルの明細データ

◇取得する受注データの各値

出荷区分	貸出開始日	貸出終了日	貸出数量
未出荷	受注の納品日	受注ホテの返却予定日(※)	受注の受注数
一部出荷	受注の納品日	受注ホテの返却予定日(※)	受注の受注残数
全数出荷	取得なし		

- レンタル売上(出荷)データ ⇒ 売上データより、種別=レンタルの明細データ

◇取得する売上データの各値

返却状況	貸出開始日	貸出終了日	貸出数量
未返却分	売上の納品日	売上ホテの返却予定日(※)	売上の売上数-返却合計数(=返却残数)
返却済分	売上の納品日	売上返却の返却日	返却合計数(=返却残数)

- 修理データ ⇒ 修理データより、修理済以外のデータ

◇取得する修理データの各値

状況	貸出開始日	貸出終了日	貸出数量
修理予約	修理開始日	修理終了日(※)	修理数
修理、メン中	修理開始日	修理終了日(※)	修理数
修理済	修理開始日	修理終了日	修理数

(※) 貸出予定に返却予定日を考慮する=チェックOFFの場合、貸出終了日はなしで計算する  
 本日以降の返却予定日を考慮する=チェックOnの場合、返却予定日<本日の場合は、貸出終了日はなしで計算する

◇ ケース別の貸出数 参考例

- 未出荷の受注

9/1~9/20まで10個貸出の受注した。

9/1=受注_納品日	9/20=受注_返却日(※)
(受注) 貸出 10個	

- 一部出荷の受注

9/1~9/20まで10個貸出の受注した。  
 9/5に4個出荷し、返却予定日を9/25に変えて売上した。

9/1=受注_納品日	9/20=受注_返却日(※)
(受注残) 貸出 6個	
9/5=売上_納品日	9/25=売上_返却日(※)
(売上) 貸出 4個	

- 全数出荷の受注

9/1~9/20まで10個貸出の受注した。  
 8/28に10個出荷し、返却予定日を9/25に変えて売上した。

8/28=売上_納品日	9/25=売上_返却日(※)
(売上) 貸出 10個	

- 受注リレーなし、一部返却済の売上

9/1~9/20まで10個貸出の売上をした。  
 9/15に4個返却した。

9/1=売上_納品日	9/20=売上_返却日(※)
(売上の返却残) 貸出 6個	
9/1=売上_納品日	9/15=返却日
(売上の返却数) 貸出 4個	

画面項目説明

◆出力条件(都度)

都度指定する条件で、前回指定値を記憶しません。

【期間From】

初期値: 本日。

指定必須

【期間To】

選択項目: 1週間/1ヶ月/3ヶ月未/半年/1年/指定

初期値: 「1ヶ月」。

「指定」選択の場合は、年月日指定必須となります。

【他、マスタ抜粋条件】

・商品コード、商品分類1～3、商品区分1～5、商品名(～含む) より抜粋したい条件を指定します。指定していない項目は全データ対象となります。  
商品分類、商品区分の各表示ラベル名は運用設定で指定した各タイトル名が表示されます。

【セット品】

・「全て」を選択すると全商品が対象となります。「セット品・構成品のみ」を選択すると、セット品登録されているセット品とその構成品が続けて出力されます。  
構成品は、セット品の配下とは別で、他商品と同様に商品コード順の箇所にも在庫表示されます。

◆出力条件(固定)

指定条件は実行端末ごとに前回値を記憶します。

【倉庫】

・指定した倉庫別在庫を集計します。在庫管理「不要」である商品は倉庫を指定すると貸出数は表示されません。  
・指定なしの場合は、全倉庫合計で集計します。

【予定在庫】

・発注残を含める⇒ チェックOnにすると、発注残データを予定在庫の計算に含めます。  
また、発注リレーしたレンタル仕入の開始日は発注で指定した納品日が採用されます。  
Offにすると開始日は仕入で指定した開始日が採用されます。  
・本日以降の返却予定日を考慮する⇒ チェックOnにすると、貸出予定は返却予定日までで計算します。  
ただし、貸出済と修理済以外のデータで、返却予定日<本日 となるデータは返却予定日以降もレンタル中である想定で計算します。  
チェックOffにすると、貸出済と修理済以外のデータは全て返却予定日以降もレンタル中である想定で貸出予定を計算します。

◆検索ボタン

指定した出力条件に一致する商品データを抽出します。

◇出力順

明細の出力順は、商品コード昇順となります。  
ただし、セット品の場合は、セット品に続けて構成品を構成行No順で表示します。  
構成品はセット品の配下以外でも、通常商品と同様に商品コード順でも表示されます。

◆明細情報

以下の項目を出力します。

【商品コード/品名/管理番号】

商品コードおよび、商品マスタの品名を出力します。単品管理している商品の場合は、管理番号ごとに出力されます。  
セット品の場合は、品名の先頭に「セ」と出力します。また、連続して構成品行を出力します。  
構成品行の場合は、コードの先頭に「└」、品名の先頭に「└構成」の文字を付加して出力します。

【構成数】

セット品の場合は、「1」と表示し、続けて構成品の場合は、構成数が表示されます。

【開始数】

出力期間From - 1日を基準日とし、基準日時点でレンタル中を除いた基準日時点での予定在庫数を出力します。  
 (すなわち、出力期間以降の貸出予定数を加味する前の、基準となる開始在庫数となります)  
 開始数は以下で計算されます。

開始数 = 基準日の営業在庫数(継続売上、仕入レンタル、継続修理は除く) - レンタル除く受注残 + レンタル除く発注残

※基準日の営業在庫数 … 基準日時点の实在庫(帳簿在庫)数 - レンタル売上 + レンタル仕入  
 ただし、継続売上、仕入レンタル(納品日 < 基準日 かつ 指定期間From ≤ 返却予定日、すなわち指定期間From時点で未返却のレンタル)  
 および継続修理(開始日 < 基準日 かつ 指定期間From ≤ 終了予定日、すなわち指定期間From時点で修理済でない修理)は除きます。

※出力条件の「発注残を含める」がチェックOffの場合、発注残の計算は除外されます。

【期間】

上段には当日の貸出予定数、下段には各日別商品別の予定在庫数を出力します。  
 セット品の完成品の場合は、各日別の構成品の予定在庫数から、構成可能な数を予定在庫数箇所へ出力します。

◇貸出予定数(上段)

- ・各日別に、レンタルの受注残数 + レンタル売上数 + 修理数 で計算ます。
- ・受注残および未返却売上の場合は、納品日から返却予定日までを集計します。修理の場合は修理開始日から終了日までを集計します。
- ・出力条件の「本日以降の返却予定日を考慮する」がチェックOffの場合は、返却予定日および修理終了日を空白(終了なし)の前提で処理します。  
 チェックONの場合は、返却予定日および修理終了日までを貸出中としますが、返却予定日および修理終了日 < 本日となる場合は、空白(終了なし)の前提で処理します。  
 どのデータも、返却済の売上または修理済の修理データの場合は返却日および修理終了日までで計算されます。
- ・受注リレーしている売上の場合、納品日は売上時指定の納品日が採用されます。

◇予定在庫数(下段)

- ・各日別に、開始数 - 貸出予定数(上段) - 受注残数(レンタル以外) - 売上数(レンタル以外) + 発注残数(全て) + 仕入数(全て) + 入庫数 - 出庫数 で計算ます。  
 すなわち各日別の使える在庫を意味します。
- ・出力条件の「発注残を含める」がチェックOffの場合、発注残の計算は除外されます。
- ・出力条件の「本日以降の返却予定日を考慮する」がチェックOffの場合は、発注残および仕入レンタルの返却予定日を空白(終了なし)の前提で処理します。  
 チェックONの場合は、発注残および仕入レンタルの返却予定日までを借入中としますが、返却予定日 < 本日となる場合は、空白(終了なし)の前提で処理します。  
 どのデータも、返却済の仕入データの場合は返却日までで計算されます。
- ・発注リレーしている仕入の場合、納品日は仕入時指定の納品日が採用されます。

◇ジャンプ機能

明細をダブルクリックすると、出力条件で指定している倉庫の該当商品コードの商品予定表を開きます。

◇各表示背景色

通常行の下段(予定業在庫数) ⇒ 薄い黄色  
 セット行の完成品の下段(予定在庫数) ⇒ 薄い青  
 セット行の構成品の下段(予定在庫数) ⇒ 薄い緑  
 倉庫別開始残高日(全倉庫の開始残高日で最大値) ≥ 期間FROM となる開始残高日がある商品はエラー ⇒ 薄いグレー

曜日は土曜が青、日曜が赤で出力します。  
 本日は日付と曜日の背景を柿色で表示します。

◆エクセルボタン

画面表示している一覧をエクセルで出力します。  
 ボタン押下すると保存先とファイル名指定された出力先指定画面がひらきます。  
 出力先とファイル名は実行端末ごとに前回値を記憶します。

◇セット品について

・表示方法

- ・検索対象にセット品の完成品が含まれる場合、完成品下には連続して全構成品も必ずセットで表示されます。

ZAI00	[セ]セット完成品A	ABC	1	0	0	0	0	2	2	2	2
└ZAI03	[構]セット構成1	2	2	11	5	5	5	1	1	1	3
└ZAI04	[構]セット構成2	1234-AAA	3	33	0	0	0	9	9	9	4
					11	11	11	2	2	2	7
					0	0	0	6	6	6	6
					33	33	33	27	27	27	27

- ・検索対象に構成品が含まれる場合、その構成品がセットされる完成品および他構成品もすべてセットで表示されます。また同時に、検索対象である構成品自身も通常商品と同様に商品コード順で単独でも表示されます。

- ・セット品は、完成品の場合は品名の先頭に[セ]の文字が付加されます。セット品下に連続で表示される構成品は[構]の文字が付加されます。構成品のコードの先頭には「└」の文字が付加されます。また、構成数の列にはセット品登録で指定されている構成数も表示されます。通常商品と同様に独立して表示されている構成品は文字は付加されません。また構成数も表示されません。

・完成品の予定在庫数計算

- ・完成品の日別の予定在庫数は、構成数の予定在庫数よりセット可能な数量を計算して表示します。

セット品登録内容が以下の場合

完成品A : 1個

構成1 : 2個

構成2 : 3個

↓

ある日の構成品の予定在庫が以下の場合

構成1 : 11個

構成2 : 33個

↓

構成品それぞれの予定在庫を構成数で除算し、最小値となる商(整数)を完成品の予定在庫とします。

構成1 :  $11 \div 2 = 5$  余り 1

構成2 :  $33 \div 3 = 11$  余り 0

結果、完成品の予定在庫は 5個 となる

・その他

- ・完成品は在庫管理対象外であるため、開始数は必ず0となります。また、構成数は1で表示されます。
- ・検索条件で倉庫指定した場合、完成品の貸出数は表示されません(在庫管理対象外であるため)

レイアウトに印字できる項目の説明です。  
 「\*\*」で始まる箇所に、以下の内容が出力されます。

出力目印	出力内容
出力共通情報	
**期間	画面で指定した期間を出力
**条件	画面で指定した条件を出力（倉庫以外）
**倉庫	画面で指定した倉庫をコード+倉庫名で出力
一覧データ情報	
**商品コード	商品コード出力
**品名	商品マスタの商品名1を出力
**管理番号	単品管理する商品の場合は単品管理番号を出力
**構成数	セット品の場合はその構成数を出力
**開始数	各日の予定在庫数計算の基礎となる開始数を出力
**予定在庫	日別の商品ごとの予定在庫数を出力
**貸出数	日別の商品ごとの貸出数を出力
一覧タイトル情報	
**管理番号タイトル	運用設定で指定している管理番号（品名2）のタイトルを出力します。
**期間月	各期間タイトルの月、日、曜日を出力
**期間日	
**期間曜日	

